

課題管理実施報告書

報告日：2010年4月6日

プログラム	アジア科学技術の戦略的推進:アジア科学技術コミュニティ形成戦略
課題名	MEDSYN ASIAの構築：先端医療保健分野における相乗効果が出るプラットフォームづくりによるサイエンス・コミュニティ形成
実施日	2010年3月4日(木)～3月5日(金)
場所	立命館アジア太平洋大学 RCAPS研究会議室
形式	一般公開型ワークショップ 展示物：無
対象者	食道腺癌に関する研究者、大学院生、学部生
来場者	人数：45名、(内訳：研究者25名、大学院生10名、学部生10名)
周知方法	プレスリリース、HP、ポスター
実施者	○実施取り纏め者 Monte Cassim (立命館アジア太平洋大学・アジア太平洋学部・教授)
内容	○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ● 本会議は、MEDSYN ASIA先端医療保健分野における相乗効果が出るプラットフォームの実効を大きな目標として開催された。 <p>国内外の研究者(アジアの科学者)が会議に参加し、二日間の国際ワークショップを通して、アジア地域で深刻な懸念をもたらしている食道腺癌に関する課題・解決方法およびGERD(逆流性食道炎)センター・GREDネットの構築について議論を行った。 (プログラム別紙参照)</p> <p>議論の結果、MEDSYN ASIAプラットフォームを構築することが確認された。</p>
効果、問題点、今後の展望と課題	○実施した効果 <ul style="list-style-type: none"> ● アジアの科学者が一堂に会した2日間に渡る議論の結果、科学者間のコミュニケーションを促進する“MEDSYN AIA”という研究コミュニティ形成が、アジア地域において重要な課題であることが明確になった。 ● 深く行われた議論の結果、MEDSYN-ASIAプラットフォームの一環としてGERD(逆流性食道炎)センターとGERDネットの実施計画の概要を作成することができた。 ● GERDネットの第一段階として、Sri Lanka(Peradeniya), Austria (Viana), North America (California)間で実施する計画を作成した。 ● 参加者全員が各国に自分が所属する機関の協力を得られるように努力することを明確にした。 ● 今回の参加者以外からも今後の活動に対して貢献することができるとのメッセージが寄せられた。 ● MEDSYN-ASIAウェブサイトを作成した。 http://www.medsyn-asia.org ● アジアの科学者コミュニティ形成する動きとしてMEDSYN-ASIAの仕組みが参考になると期待する。 <p>○ 実施上の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催時期が年度末であったため、研究者の都合により参加者変更・キャンセルが多

数発生した。

○ 今後のコミュニティ形成に向けての展望と課題

- 2011年2月頃、MEDSYN-ASIAプラットフォームの構築に係る課題・成功事例などに関する国際ワークショップを開催予定。